

単元名 (参考単元)かざって なに いれよう(工作)

配当時間 3時間

単元の目標 (1) 工夫して工作に表しながら、飾りになる形や色を見付けることができる。
(2) 箱や袋にどんな飾りを付けると楽しいか考えるとともに、飾った箱や袋を友達と見せ合い、飾りの面白いところ、工夫したところを感じ取ることができる。
(3) 自分なりの思いをもって箱や袋を飾ることを楽しもうとする。

標準的な展開例

01080307_001

【準備等】 空き箱、紙袋、身辺材（モール、ボタンなど）、色紙、色画用紙、木工用接着剤、化学接着剤、はさみ、のり など

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～3 箱や袋を思い付いた方法で、飾りを付けをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○何を入れたいか考えながら、楽しい入れ物を思い浮かべる。 <ul style="list-style-type: none"> ・木の実をたくさん入れられるように、部屋をたくさんつくりたいな。 ・大切なものが大事に守られているように、綿を敷こう <p>★飾りをつけて、素敵な箱や袋にしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○思いに合うように飾りをつくり、箱や袋の様子を変えていく。 <ul style="list-style-type: none"> ・箱にリボンをつけて、かわいい箱にしよう。 ・箱の中も飾ってみたよ。 ・ビーズやモールを使ったよ。 ・運べるように紐をつけたよ。 ・猫の顔にしたよ。 <p>○できた箱や袋を友達と見せ合い、面白さや楽しさを見付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな色のお花をつけたんだね。 ・ペットボトルの蓋の工夫がいいね。 ・分ける場所があって、使いやすそうだね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 1・2 上 P.40, 41 ・箱や袋は事前に保護者に集めておいてもらうように、連絡しておく。 ・飾られた箱や袋で楽しくなったことを思い出させ、飾ることに興味を持たせる。 ・箱や袋の中に何を入れたいか、どう使いたいかをイメージできるように問いかけ、どんな飾りがよいか思い浮かべてみるように提案する。 ・箱や袋にいろいろな飾りを付けたり、組み合わせたりしながら、楽しくなる飾りを考えさせる。 ・グループで机を合わせ、友達の作品を見ながら制作することで、お互いの作品を参考にさせる。 <p>【評】 作品を通して、飾りの色や形、飾り方を工夫する「知識・技能」を評価する。</p> <p>【評】 作品を通して、飾る材料を選んだり、組み合わせたりしながら、思いにあった飾りを考える「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の作品について、気に入っているところや工夫したところ、できた箱にどんなものを入れたいか、誰にあげたいか発表させてもよい。 <p>【評】 作品を友達と見せ合う活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】 作品やこれまでの学習活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】

特別な教科道德との関連

A－(3)「節度、節制」との関連が考えられる。道德で学んだことから、入れ物をつくる活動につなげることも考えられる。

他教科との関連

生活科と関連が深い題材。自然の中で集めたものをいれるなど、箱の中に入れるものも考えると、飾る発想も広がる。家族や身近な人への感謝の気持ちを箱に込めてプレゼントすることもできる。